

**第8回ざまみカップは参加艇数過去最多、県内外から50艇が集まり
座間味島の皆さんの暖かさを感じることができる最高の大会となった!!**
2019.5.18 (sat) in Zamami



取材協力：オキナワアイランドサービス 運営会社：カノ株式会社 沖縄県宜野湾市新城2-44-30 TEL:098-893-3659 担当：丸山 <http://www.ok-islands.com>



大会本部前の桟橋には沢山のスポンサーフラッグが並べられていた。座間味港に並ぶ参加艇。こちらでも大型艇が増えてきた気がした。



今回優勝チームサンディアさんが上げた184.2kgのカジキ!やはりかなり太い!大会実行委員長の宮村幸文氏。表彰式やパーティーを大いに盛り上げてくれた。

5月18日土曜日、第8回ざまみカップが沖縄県座間味島をベースに開催された!今回の参加艇数は過去最多、県内外から50艇の参加があり、島をあげての歓迎ムードの中、釣果は15本、最大魚184.2kgというビッグサイズのカジキも釣り上げられ、大会は大いに盛り上がった。今回は編集部は愛知県のチームレバンテさんに乗船させて頂き大会に参加した。大会はワンデーで沖縄本島から参加する選手や座間味島から参加する選手など様々。午前6時スタートフィッシング。座間味村内は6時30分スタート。参加艇はそれぞれのポイントを目指しアクセル全開。チームレバンテはお気に入りのポイントに到着。鳥も飛んでいて雰囲気は最高!全員が絶対にくると感じてしまうほどのポイントで早速リールを流し出した。しばらくすると、ジジッ、ジジッとリールが音を上げた。しかし、継続的ではない。単発のクリック音にキャプテンである長谷川会長が「魚が小さいな〜」と言。凄く雰囲気がある

海域だがなんとなく違うなと思っていると、ナブラがあちこちに出来はじめ、いきなりリールが鳴りだしヒット!そして、水面を飛んだカジキを見て全員が「小さっ!」チームレバンテの手に掛かったら瞬殺でキャッチ!船に上げてみると会長の読み通り4、50kgの小さなカジキ。まあ、一本は一本。全員で歓声を上げ、ふと見ると、もうルアーを流し始めているクルー達!流石、サイズに納得しておらず、次なる一本の準備を始めていた。その後、時折リールは鳴るのだが続かない。ポイントを移動し、流してはみたがヒットは無く、そのままストップフィッシングとなった。検量の為座間味島に戻ってみると、大きなカジキが釣り上げられており、なんと184.2kgというビッグサイズ。チームレバンテはそっとカジキを置き、その場を離れた。表彰式とパーティーは19時スタート。島をあげ大歓迎してくれた座間味島の人々の暖かさを感じつつ、楽しい大会は大いに盛り上がり幕を閉じた。



目標のポイントに向け船を走らせる長谷川会長。ポイントに到着してしばらくするとヒット!流石沖縄、カジキの量は半端なく多い。時々カツオもヒットする。



カツオだけを狙うなら、一瞬でクーラーボックスはパンパンになるだろう!

前回の琉球CUPに続き、今回も絶好調のバラディックと琉球KZK LURES! ヒットして直ぐに寄せて上げたため、カジキが凄く綺麗だった!



県内外から集まった参加艇!HEART LANDは大会実行委員長の宮村氏が乗っている参加艇。今回の参加は過去最多の50エントリー!素晴らしい!!



表彰式を盛り上げてくれた沖縄の伝統芸能エイサーと沖縄で活躍するみなみさん達。 実行委員会特別賞 チームマーベリック



大物賞 1位クロカワ184.2kg チームサンディア 大物賞 2位クロカワ128.0kg チームビヨンド 大物賞 3位クロカワ 103.4kg ハートランド



重量賞 1位 チームサンディア 重量賞 2位 うみとも 重量賞 3位 チームビヨンド